

# 敬愛短大附属幼稚園だより 6月号

5月のツツジの花も終わり、若葉も色が濃くなり始め、季節の変化が手に取るように分かるようになりました。そして日差しも強くなり、少し動いただけでも汗が出てくる時期になりました。そのような幼稚園の生活ですが、今月はジャガイモほりが間もなく行われ、11日の小運動会に向けて子どもたちも先生方もエンジン全開です。

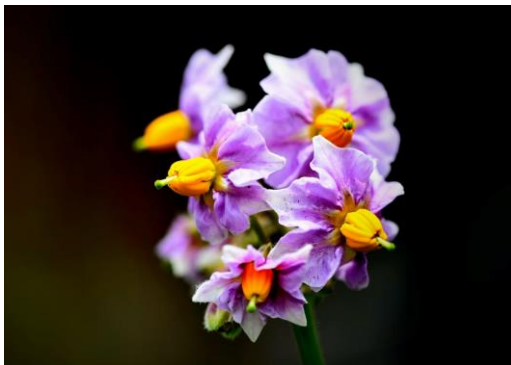
こうした中で子どもたちは園庭でミミズや小さな昆虫探しが人気です。下の写真はその一例ですが（左がテントウムシ、右側はカマキリの赤ちゃん）園のホームページではカラーで見られますのでそちらをご覧ください。現在は、園内で見られる「いきもの図鑑」をつくるために写真を撮りためています。既成の図鑑では詳しくすぎて子どもたちが見つけた生き物を検索するのは情報量が多すぎてなかなか大変なため、身近に見ることができるものを集めて園独自の「いきもの図鑑」を制作することにしています。



← テントウムシ



↑ 人気のカマキリのあかちゃん



← ジャガイモの花  
(キタアカリ)

ジャガイモを大きくするには花を取り去った方が良いか、それともそのままが良いのか皆さんはどちらが良いと思いますか。

ジャガイモは種類によって花の色も異なります。また、ナス科の植物でもあります。

ジャガイモの一大産地の北海道は今年の天候不順で収穫が減り、価格も高騰しているようです。

## 【大人と子どもの違い】

今回は運動（スポーツ）や様々な人の行動について考えてみたいと思います。幼稚園で取り組んでいるいくつかのプロジェクトには当初からゴールが設定されています。また、ゴールのないプロジェクトは存在しません。ゴールが明確であるからこそ、どこまで到達できているのかが明白になります。しかし、子どもたちが楽しみたいことややりたいことにはゴールがありません。一方、すべての大人がそうではありませんが、どちらかという大人は先に結果（結論）を求め、過去の経験に照らし合わせた自己の価値観で多くのことを判断しますが、経験の少ない子どもたちは遊ぶ過程や行動の過程そのものを楽しみますので、結果を焦らず、過程を楽しむ子どもを適切に援助した方が将来の多様な価値観にも柔軟に対応できる人になるでしょう。その上で自分の考えを持つことで幅広い人間性を獲得することができるようになります。

（園長 杉山清志）